

## 皆さん、一緒にご冥福を祈ってくださいませんか

死を宣告されてから家づくりを決意し、  
奥さんにQ1.0住宅を遺して他界した人がいます  
自らの入居まで神様は命を与えてくれませんでした。



八戸に住むKさんから今年2月末電話を戴きました。「エコ住宅Q1.0」を読んでQ1.0住宅を建てたい、協力して欲しいと。3月のセミナー会場で初めてお会いし、それが、建てて死ぬという決意だと知りました。9月、肺炎を併発し入院、日一日と完成に近づく家の写真を病室で楽しみに観ていたそうです。10月19日入居直前、容体が急変し亡くなりました。穏やかな人でした。

### 追悼

「5年前肺がんを宣告され、今年一年生きられるかどうかわからないのです」  
初めて会ったとき そう話したKさん。  
「私が死んだ後、せめて妻には温かく暮らして欲しいから、いい家を遺してやりたいと決めました。協力してくださいませんか」  
真剣なまなざしでそう言ったKさん。

新しい家を見ることなく逝ってしまったKさん  
その言葉通りの家ができましたよ。  
その言葉通りの陽だまりができましたよ。

苦しいの一言も言わず死んでいったKさん  
「いい家をつくってくれて感謝してます」  
周りの人みんなにそう言葉をのこして去っていったKさん

みんなあなたのことを尊敬しています  
あなたの笑顔、あなたの姿がこの陽だまりの中に見えますよ  
この場所にロッキングチェアを置きましょうか、  
そしてここをKさんの陽だまりと呼びましょう。

「風邪も引けない体だから外にも出られず・・・  
家の中から外を見るのが楽しみなんです」  
幼子(おさなご)をなだめるようにそう話した奥さん。

「窓からでも季節は見える」  
「外を見てると好きだった山登りを思い出す」というKさん

いい窓をつくってくれましたよ、Kさん。  
額のような窓ができましたよ、Kさん。  
公園の桜がまるで一枚の絵のようですよ。  
来年の桜は見事です、きっと。  
家の中で観桜ができますね、Kさん。

「紅葉は見られるかも知れないが桜は無理ですよ」  
そう言って微笑んだKさん、  
色づいた葉も見られませんでしたね。

さようならKさん  
この窓から見える桜が咲くたび、色づくたび  
私たちはKさんを思い出すでしょう。

さようならKさん  
またどこかで行き会えるといいですね

2009年10月20日 八戸のK. Tさんへ  
新住協 会沢 健二